

発刊によせて

ここ数年感染症拡大により遊びや運動の機会が減少し、ますます子ども達の運動能力の低下が指摘され、多くの課題が挙げられています。川崎市体育研究会では、心身ともに運動の楽しさや心地よさを感じられるような体育学習を目指して、「体と心を育てる体育学習」をテーマに掲げ、研究を推進してきました。令和2年から新学習指導要領が実施され、長年の研究に加え、「主体的・対話的で深い学び」を焦点化し、その在り方についてさらに研究を深めているところです。子ども達が自らがめあてをもち、主体的・対話的で深い学びを通して、運動の楽しさを味わえる体育学習を目指し、また、その学習過程において、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学習に向かう力・人間性等」をどのように育成していくのか、日々の授業を通じて研究活動を進めてきました。体育学習において運動を楽しむ資質や能力を培い子ども達に身体を動かすことの喜びを感じさせたり、達成感や充実感を味わうことができたりするような学習の道すじや組み立てを考え、授業実践・検証を重ねました。本研究会では、体育学習の充実を図るべくこの「体育指導の手引き」を作成しているところであります。体育学習をどのように進めていったらよいのか、動き方が「分かる」技や動きが「できる」ように授業のモデルを示し、誰もが各学校において、その実態に応じた取組ができるようにできるだけ具体的な授業がイメージすることができるように編集しています。

研究テーマ 体と心を育てる体育学習

サブテーマ ～主体的・対話的で深い学びを通して、
運動の楽しさを味わえる体育学習をめざして～

編集の留意点

- これまで作成してきた実践例を再検証し、学習指導要領を意識した川崎モデルの作成プランに沿った実践例を掲載しています。
- 学習の道すじ、用意する教材、指導のポイント等を精選して端的に明記し、手軽に活用していけるものとしています。
- 学習に道すじにおいて、教師の言葉かけとそれに対する子どもの反応を吹き出しにすることで、どのタイミングでどんな言葉かけをすればいいかを分かりやすく記述しています。

子ども達が笑顔で楽しく学習に取り組むとともに、「わかった」「できた」の達成感を味わえる学習が、川崎市内すべての学校で行われることを願い、体育研究会がワンチームとなって編集に取り組んで参りました。各学校で、本手引書を活用し、授業実践を積んでいただき、さらに良いものとしていただけたら幸いです。

最後になりましたが、お世話いただきました川崎市教育委員会健康教育課 村石恵子担当課長、森嶋毅指導主事及び、関係職員の皆さまをはじめ、ご指導いただきました川崎市総合教育センターカリキュラムセンター門口知弘指導主事、執筆に携わった小体研役員・助言者、常任委員の先生方に心から敬意を表し感謝申し上げます。

令和4年 3月
川崎市立小学校体育研究会
会長 鶴見 悦子